

2600cc化することで 驚異的なトルクを手に入れた

TOMMYKAIRA JAPAN BR9 LEGACY RR 2.6TB



先月号でフルエアロを装着したスタイリングを紹介したトミーカイラのレガシィ RR。じつはボアアップして2600ccになっていたのだ。たったプラス100ccと思われるかもしれないが、その実力はモンスター級。今回はインプレッションをお伝えすることにしよう。

写真/澤田優樹

トミーカイラ・ジャパンのレガシィ RRに試乗して、そのトルクフルな走りに驚かされた。このクルマに乗る数日前までノーマルのエボXに乗り、Sスポーツモードの過激な加速感を堪能していたのだが、ハッキリ言ってトミーカイラのレガシィ RRは、それ以上に刺激的な走りを体感することができた。

メインとなるエンジンチューニングは1000ccのボアアップである。スペースに余裕がないレガシィの場合、大径タービンを装着することはできない。2600cc仕様のボアアップ+純正タービンのハイフロー加工、これにECUのセッティングとエキゾーストチューンを施している。

これにより最大出力を純正比45・5ps、最大トルクを純正比12・56kgmものビッグパワーを引き出しているのである。この数値を見ていただければ、このクルマがどれだけハイパワーになっているか理解していただけると思う。ノーマルレガシィとは比較にならないフィーリングである。しかもトルク重視のセッティングになっているので、非常に乗りやすいのだ。

トミーカイラでは、エンジンチューンに合わせて専用サスペンションまで開発している。これは、圧倒的な加速に耐えうる剛性のあるサスペンションで、ボディ補強をしなくても十分なセッティングになっ

ているという。街乗りでは乗り心地良く、高速走行ではヒタツと路面に貼り付くようなフィーリングが得られた。

エキゾーストシステム・プレミアム01Sは、パワー感も申し分ないのだが、スポーツフィールを高めてくれるエキゾーストノートも官能的なものに仕上がっている。

このクルマは、エアロパーツやサスペンションなどを含めて今後コンプリート販売される予定だという。普通のレガシィじゃ満足できないという方にオススメできるクルマだ。



美しく造形されたトミーカイラのフロントマスク。適所をブラックアウト化することで表情が引き締まる

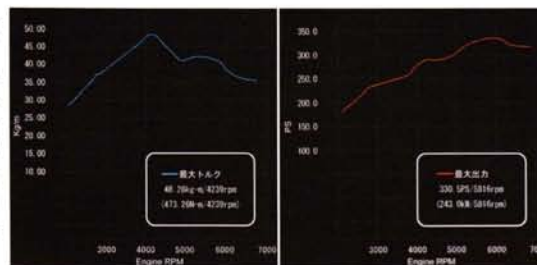


ボアアップされたエンジンヘッドは、豪爽的にカーボンレッド柄でドレスアップされている



エキゾーストシステム「プレミアム01S」は、ストレートパイプとセンターパイプも用意。リアピースは、バンパーに合わせて長さ調整できるタイプもある

純正レガシィのターボの最大出力は、210kW(285ps) / 6000rpm、最大トルクは350Nm(35.7kgm) / 5600rpmと十分にパワフルだが、トミーカイラ・レガシィ RRは、最大出力243kW(330.5ps) / 5816rpm、最大トルクは473.2Nm(48.26kgm) / 4239rpmと驚異的な数値になっている



問い合わせ トミーカイラ事業部 ☎0565-52-8555 <http://www.tommykaira.com/>



“HIGH PERFORMANCE SPEC”
チューニングを楽しむ!!



トミーカイラ・ジャパンの工場には、キレイに整備されたピットのほか、オーナーたちが集うことができるゲストルームを完備している

レガシィを すごく好きになって いろんなアイデアが 出てきました



トミーカイラ・ジャパン
樋井尊吉さん

—以前にレガシィは、コンプリート販売の計画があるという話をしていたのですが、現段階でどういう展開を考えていますか？

樋井 すでにプランは完成していて、あとは発達するのみという感じです。計画では、ステージ1/2/3と用意していて、エクステリアを中心としたカスタマイズとしてステージ1。次に足まわりやタイヤ&ホイールまで装着したステージ2。最後ステージ3は、本当に好きな人だけに限定したエンジンチューニングまで提供します。
—どうしてレガシィでコンプリートカーを出そうと思ったのですか？

樋井 最初は、旧トミーカイラ(トミタ夢工場時代)のコンプリートカーを彷彿させるようなレガシィを出したいと思っていましたが、多くのユーザーとの対話のなかで、少しずつ変化してきました。BP/BLまでのレガシィユーザーは、チューニングにこだわっている人が多かったようですが、BR/BLMになってからは、今までスバルに乗っていなかったユーザーの方が多いんです。

だからエアロパーツについても、派手目のモディファイが好きだったり、LEDが好きだったりという風に、今までのスバルファンとは異なるユーザーが増えている。だから1回リセットしたほうがいいと

思っ…。エンジンチューンはやるんですが、コンプリートカーすべてにということではなく、ドレスアップ派、ライトチューン派、ハードなエンジンチューン派というそれぞれの方に向けたプランを用意することにしました。

ボクはレガシィをすごく好きになりました。好きにならないと、いろいろなアイデアも生まれてこないですし、みなさんがすごくカッコイイって言ってくださるので、ボクとしても喜んでます。
—今回試乗した仕様はステージ3仕様なんですね。

樋井 そうです。
—エンジンチューンのメニューを教えてください。
樋井 まずエンジンを100ccボアアップしています。そしてECUをそれに合わせてセッティング。大径タービンがスペース的に無理なんで、あと純正タービンをハイフロー加工してトルク重視のセッティングにしています。

—とても乗りやすいですね。驚きました。
樋井 乗りやすいでしょ。ブーストを上げることなく、低回転から力強いトルクを出すことで、パワフルなフィーリングを出しました。だからIでも十分にパワフルだし、乗りやすい。S#にすると、とてもないクルマになりますよ。

—オリジナルのサスペンションの剛性感も聞いてですね。しっかり動くから乗り心地がいいのに、剛性感が十分にある。

樋井 このサスペンションをつければ、ボディも強いんじゃないですよ。
—いつからコンプリートカーの販売を開始する予定ですか？

樋井 これからコンプリート販売できる店舗オープンさせようと思っています。もちろんスバルディーラーでの販売も考えていますが、エンジンチューンまでいくとなると、専門店をつくる必要があると考えています。もうしばらくお待ちください。



トミーカイラ・ジャパンでは、自社にクレイモデルルームがあり、実車をベースに専任のモデラーが製作エアロを製作している。ここまでこだわって、さらに、微妙なデザインワークが可能になるのだ

フロントバンパー(LEDスポット付) 12万9150円 / サイドステップ 5万6700円 / カーボンアンダーフラップ 6万900円 / サイドステップVer.Ⅱ(サイドステップ+カーボンアンダーフラップ) 10万5000円 / リアバンパー(Z34純正バックフォグ付) 10万5000円 / トラックスポイラー 2万9400円(FRP) / 6万900円(カーボン) / サイドガーニッシュ(ABS製・メッキ調) 4万7250円 / PREMIUM 01Sセンターパイプ 8万4000円 / PREMIUM 01Sリアピース(4本出し) 14万1750円(ターボNA)※ / LEDバックフォグ3万5700円 / LEDバックフォグ(リレーキット付き) 4万4100円
※TOMMYKAIRAオリジナルバンパー専用スライドタイプ。NAに取り付けの場合、センターパイプの装着が必須になります

